

太田市自分ごと化会議 2024

第 3 回会議 議事概要

日時	2024 年 12 月 21 日（土）9 時～12 時
場所	太田市役所 9 階 会議室 9A
参加者	無作為抽出市民：15 名（欠席 11 名）
コーディネーター	構想日本 フェロー 秋元 真彦
ナビゲーター	キャッシュレス推進協議会 ディレクター 鈴木 麻友
市関係部局	産業政策課

凡例）コ：コーディネーター、ナ：ナビゲーター、代：構想日本代表、委：委員、市：市職員

議事概要
■構想日本 加藤代表のお話し （省略） ■議論 ■ナビゲーターによる情報提供 ナ 当協議会は、いくつかの地域通貨の立ち上げ・見直しの手伝いをしてきたが、この会議のように、地域の方々が地域通貨を単なる支払いの手段としてではなく、自分の地域にとっての意義を認識したうえで活用することが重要。地域通貨とは地域の課題解決を手助けする手段であるため、OTACO にこだわらず、地域の課題や解決策を考えた上で、どのような活用法があるか模索して欲しい。 （省略） ➤ 説明後に出た主な質問 委 さるぼぼコインについては、飛騨信用組合による丁寧な支援により、キャッシュレス決済を導入したと書いてあったのだが、具体的にどんなことをしたか。 ナ 店舗への導入後のフォローアップ、問い合わせに対応できる体制の構築、使用者への説明会などを丁寧に行っていたと聞いている。 委 高齢の方が説明を受けたという事例はあるか。 ナ すぐに事例は出てこないが、インストール方法から住民に説明する自治体はある。 コ 複数の目的を組み合わせるほど、利用者と多くの接点を持つことができ、効果的だと感じる。例は、3つの目的を組み合わせているが、組み合わせる個数に限度はあるか。 ナ 組み合わせるほど魅力は増すが、複雑になる。まずは1つの目的を中心に考え、そこから広げていけば、3つ以上でもチャレンジできると思う。

コ 課題解決のための目的であれば、いくつでも組み合わせられるということか。

■初参加の委員の自己紹介

(応募経緯について部分のみ抜粋)

委 昨年度参加して、今年度も誘いがあり、こんな機会もう一生ないだろうと思って参加した。

■前回の振り返り

(省略)

■全体協議

コ 地域とは誰・どこが関わることができるのか、生活しているコミュニティの中でどんなものが関わることができるか改めて確認したい。

➤ 主な意見

- ・自治会、育成会、PTA 活動、子ども会、町内運動会、おまつり、自分ごと化会議の場、部活動、サークル、小学校の授業（昔の遊びを教わろう）、消防団、役員会、同窓会、回覧板、連絡網、趣味の集まり、市民サークル、文化祭、ボランティア、親戚
- ・子どもを通じて、近所の方たちとつながりがある。住宅メーカー主催で BBQ を行ったことがあることから、近くにある民間企業も 1 地域として数えても良いと思った。
- ・地域といったら、その町に住んでいる人や学校に通う人というイメージだが、その地域に通勤する人やお店に通う人も、顔を合わせ、挨拶を交わし、つながりを持つようになるので、地域といえるのではないか。

■グループワーク 1

コ これまでに出了意見を深掘りしていきたい。誰が・どこで・何を・何のためにするか、考えてみて欲しい。今、改善提案シートの地域でできることの欄がやや少ない。地域には、皆さんに挙げてもらった様々なものがある。そのコミュニティの中で、どんなことができるのか考えていきたい。取り上げる意見は何でも構わない。

➤ 主な意見

委 行政から自治会単位で住民に OTACO を導入して欲しい店舗についてのアンケートを取る。それをもとに店に働きかければ、店側の利益や、地域の OTACO の利用促進につながる。地域の民間企業に勤める人の中には、他の自治体から通勤し、外で昼食をとる人もいるので、その人たちにもアンケートを取るのが良いかなと。

コ アンケートで対象が取りまとまった時の店舗に対するアプローチは誰がするか。

委 行政が行う。

コ 自分たちや地域でできることは何があるか。

委 店に行った時に OTACO に加盟するように働きかけるとか。

代 店舗に働きかけて OTACO に加盟させた人に 1 万ポイントを渡せたりするか。

コ 導入した店舗側にも付与することは可能か。

市 個人には可能だが、店舗に付与できるシステムは現状ない。

コ 店側は機械を置いたり、微妙な手続きがあつて大変だが、ポイントがもらえれば導入すると思う。店へのポイント付与はシステム上不可能でも、経営者個人にポイントを付与するという考え方はできると思う。

委 前回のスタンプラリーの案を参考に、パズル型スタンプラリーを考えた。パズルのピースに書いてあるミッションに挑戦し、全て達成すると 1 つの絵が完成するというもの。

コ 地域の人はどうのように関われるか。

委 対象が親子なので、小学生が手伝っても良い。

委 行政の説明は、上から目線に感じたり、硬くて伝わりづらい。分かりやすく伝えるには、地域の方が説明すると良い。また、言葉だけでなく動画を作成した方が若者も高齢者も分かりやすい。若者には Instagram で伝えるのも良い。人に紹介した・された時ポイントがもらえれば、利用者も増えると思う。キャンペーンのチラシも、文字やデザインを工夫して明るく・楽しく・ワクワクするような嬉しい。

コ 分かりやすくするためにどんなことをするか。

委 今は Youtube などの動画で情報収集するのが主流だから、説明も動画が良いと思った。それを自治会などが視聴し、広めていくのが良いのではないか。

コ 自治会の集まりで、説明するのは行政という想定か。

委 初めの説明は行政。その後は自治会や若い人が説明して拡げていく。

コ 初めは行政が OTACO の制度について自治会や若者向けに説明し、説明を聞いた人が

地域の集まりに出向いて話をするということか。

委 それで動画を投稿してもらったり、補足説明をしたりする。

代 産業政策課の職員は、OTACO に加盟している店舗は、主なところをカバーしていると認識している。皆さんは、自分が行く店は、だいたい OTACO に入っていると感じているのか、そうでもないのか手を挙げて欲しい。
(半分に分かれる)

代 もう 1 つ質問したい。若者が OTACO の加盟店について勝手に情報共有や宣伝してはいけないか、広めるだけなら行政経由で制度の説明を受けなくても良いのか。

市 個人で広めていただいて良い。

代 先ほどの意見は、行政の枠にとらわれない意図で提案してくれたと思うがどうか。

コ 勝手に PR ということか。

委 OTACO に興味がある若者は一定数いる。その人たちで Instagram のアカウントを作ってみる。OTACO に関わらず、美味しい店や気になる店は行くので、加盟店で投稿してくれた人には 5000 円をプレゼントすると良いと思う。

■グループワーク 2

コ 個人で SNS や動画投稿をするという意見があったが、個人それぞれで PR するなら、具体的にどんなことをすればよいか、自治会の場に出向いてアプローチをするときに枠組みが必要な場合、どんな枠組みが必要になるのか考えていきたい。

➤ 主な意見

委 OTACO への認知は、「キャンペーン以外ではポイントが付かない電子マネー」だと思う。しかし、OTACO には店側の手数料が発生しないメリットがある。このメリットを太田市に愛着のある市民の意識に呼びかけたい。PR 方法は、「地元の経済を発展させるため」「太田を住みよい街にするため」などメリットが理解できる働きかけを行う。

委 OTACO は未成年も使えるが、友達で OTACO を使っている人を見たことがない。学生への周知度や利用率を上げる活動を行うと良い。商業科や、普通科の情報のカリキュラムを学ぶ学生に、学んだことを活かして OTACO を PR してもらおうと良い。また、学校にチラシを配ったり、子どもに分かりやすい広報をすれば、使うと考えた。

コ 先ほどあった、動画や Instagram などの意見は学生との親和性が高い。

委 InstagramでのPRはもちろん、行政が中高生向けにチラシのデザインコンテストを開く。デザイン賞、10代部門はこの人！というように楽しいイベントを開催すれば、広まりやすいのではないか。これは個人の願望だが、デザイン賞を受賞したら、証明書を発行してもらえて、内申点に加えられたら嬉しい。

コ 楽しくする、型を破るというのは行政がとても苦手とする分野。若い人の力をもらって解決していったら良いのではないか。

コ 今日のまとめに入りたい。
(省略)

ナ 色々な意見が出ていて素晴らしかった。1人で考えると一辺倒な考え方になったり、違った視点に気づけなかったりする。様々な視点から考え、1つでも、2つでも実現し、行動に移していくことが次のポイントになる。OTACOの本来の目的やできることへの理解を通じて、意見を出し合いながら良い地域通貨を作って欲しい。地域通貨に関心のない人にどう関心を持ってもらうのか。これはとても難しい課題。各地の自治体で、キャッシュレスに関する講習をすることがあるが、参加者は少なからずキャッシュレスに関心のある人。そうではない人や店にどうアプローチしたら関心を持ってもらえるかが、キャッシュレス全体の課題だと思っている。それに対して地域通貨は、すでに「地域」という皆に共有されている大切なコンテンツがある。それを活用しながら、色々な方々に関心を持って活用してもらえる地域通貨に育ててもらえたらと思う。OTACOの発展を楽しみにしている。

■市長挨拶

(省略)

■事務連絡

(省略)

■閉会